

令和4年 病害虫防除指導情報 第5号

作物名：じゃがいも
病害虫名：疫 病

疫病の初発が確認されました。初発後は急激にまん延する病害です。
病斑を見つけしだい薬剤防除を徹底し、散布遅れにならないようにしましょう。

1. 疫病の発生状況

- (1) 6月30日に実施した特別巡回調査において、県南地域の1地点でジャガイモ疫病の初発を確認した。平年の初発時期は6月26日頃で平年よりやや遅い発生確認となっている。
- (2) 東北北部は6月15日に梅雨入りしており、特に県南地域では濃霧や霧雨の日が続く場合には、本病のまん延、拡大が懸念される。

2. 防除対策

- (1) 発生が認められたほ場では、まん延防止のため、5～7日間隔で薬剤散布を行う。
- (2) 防除適期を失わないように気象情報に注意し、濃霧や曇雨天の日が続く場合には、散布間隔が10日以上あかないように降雨の合間に薬剤散布を行う。
- (3) 薬剤耐性菌の発生を防止するため、FRACコードを参考に系統の異なる薬剤を準備し、同一系統の薬剤は連用しない(表1)。



【ジャガイモ疫病の発病株】

【葉表の病斑、葉裏には白いカビを生じる】



【ジャガイモ疫病 病斑の葉裏に形成される白いカビ（洋なし形の遊走子のう）】


表1 ジャガイモ疫病防除薬剤一覧

薬剤名	有効成分	FRAC コード	使用方法			
			希釈倍数	使用 時期	使用 回数	成分総使用回数
リドミルゴールドMZ	メタラキシルM	4	500倍	収穫 30日前	1回	メタラキシル及びメタラキシルMを 含む剤 3回以内
	マンゼブ	M03				10回以内 (無人航空機散布は3回以内)
フロンサイド水和剤	フルアジナム	29	2000倍	収穫 14日前	4回	6回以内(但し、種いも浸漬は1回以 内、植付前の土壌混和及び植付時の 植溝散布は合計1回以内、植付後の 散布は4回以内)
フロンサイドSC			1000~2000倍			
フェスティバルM水和剤	ジメトモルフ	40	750倍	収穫 14日前	3回	3回以内
	マンゼブ	M03				10回以内 (無人無人航空機散布は3回以内)
フェスティバルC水和剤	ジメトモルフ	40	400~600倍	収穫 14日前	3回	3回以内
	塩基性塩化銅	M01				-
ベネセット水和剤 カンパネラ水和剤	ベンチアバリカル ブイソプロピル	40	1000倍	収穫 7日前	5回	5回以内
	マンゼブ	M03				10回以内 (無人航空機散布は3回以内)
ベトファイター顆粒水和剤	シモキサニル	27	1500倍	収穫 7日前	4回	5回以内
	ベンチバリアカル ブイソプロピル	40				4回以内
カーゼートPZ水和剤	シモキサニル	27	800倍	収穫 7日前	4回	4回以内
	マンゼブ	M03				10回以内 (無人航空機散布は3回以内)
ホライズンドライブフロアブル	シモキサニル	27	1500~2500倍	収穫 14日前	4回	4回以内
	ファモキサドン	11	1500倍			4回以内
ランマンフロアブル	シアゾファミド	21	1000~2000倍	収穫 7日前	4回	4回以内

注) ジャガイモの農薬登録上の作物分類は「いも類」であり、「野菜類」ではないため、「野菜類での登録農薬は使用できないので注意する。

————— 農薬を使用する際には必ず最新の農薬登録情報を確認してください —————

県民の皆さまへのお願い
新型コロナウイルス感染拡大防止



<https://www.pref.aomori.lg.jp/koho/covid19kakudaiboushi.html>

《この情報に関する問い合わせ先》

青森県病害虫防除所 担当：主幹専門員 及川 健
TEL:017-729-1717 FAX:017-729-1900
〒030-0113 青森市第二問屋町4-11-6
E-mail : byogaichu@pref.aomori.lg.jp

※当情報は、青森県農業情報サービスネットワーク「アップル農場：病害虫防除情報」(<https://www.applenet.jp>)に掲載しています。